



びょういん癸

12月

No70

院長となって半年が経過して



大和市立病院長

石川 雅彦

令和 5 年 4 月 1 日付けで大和市立病院長を拝命しました石川雅彦と申します。平素より当院の診察に関してご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、平成 22 年 4 月に横浜市立大学附属市民総合医療センターより大和市立病院産婦人科担当部長として赴任し、以来 13 年間婦人科を中心に地域医療に携わってきました。平成 29 年 10 月からは副院長として、安全管理室長、救急業務対策委員長、経営企画会議委員長、患者サポートセンター長等の業務を担当してきました。特に当院の最重要施策として位置付けている救急に関しては、職員一丸となって取り組み、着実に数年来救急車の応需件数及び応需率が伸びてきました。

当院は、開院以来地域を支える基幹病院として、そして医療従事者を育てる教育医療機関としての使命を果たしてきました。基幹病院として、地域がん診療連携拠点病院、救急指定病院、災害拠点病院、地域医療支援病院、周産期救急医療システム受入病院などの指定を受け、小児救急においては 365 日 24 時間受け入れ体制を敷いています。教育医療機関としては、臨床研修指定病院、神奈川県看護師等実習養成施設、日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設、多くの学会の専門医研修施設等の認定を受け、医療従事者の育成にも力を注いでいます。

令和 5 年 4 月 1 日より、これまで回復期に近い地域包括ケア病棟として運用してきた 7 階南病棟を一般急性期病棟に転換することが認められ、全ての病床を高度急性期・急性期病床として運用することができるようになりました。今後益々地域の基幹病院として高度急性期や急性期に特化する体制を整えていきたいと思っています。

当院は新型コロナウイルス感染症への対応にあたっては、重点医療機関として中等症患者の受け入れを行ってきました。令和 5 年 5 月 8 日より新型コロナ感染症は 5 類となりましたが、感染者は継続しており、第 9 波に入ってしまったと考えられ、連日 15 人以上の患者さんが入院している状態です(8 月 15 日時点)。今後も感染予防対策を徹底し、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息するよう治療に取り組んで行きたいと思っています。

当院はこれからも地域の基幹病院として市民の皆様の健康を守るため、職員一同取り組んで行きたいと思っています。今後ともより一層のご支援のほど宜しくお願いします。

当院の救急業務体制と取り組みについて

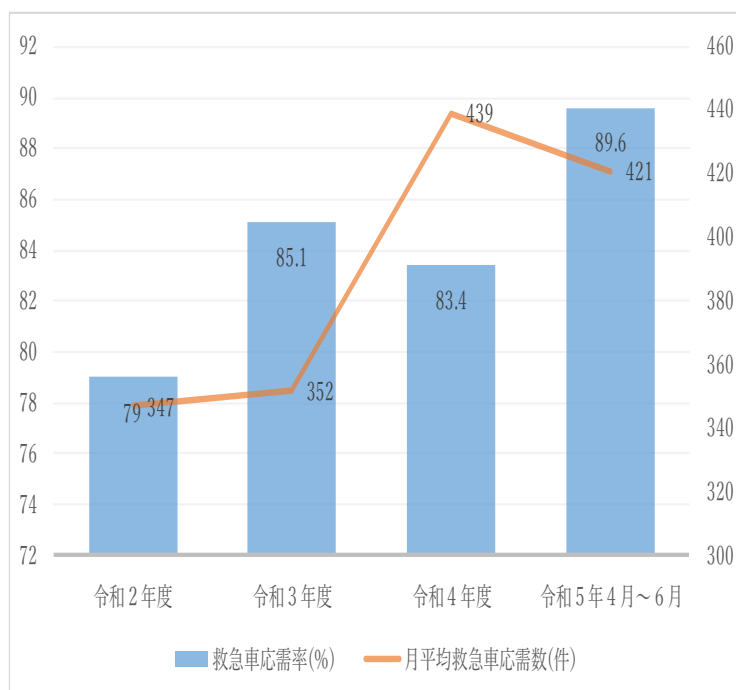
診療部長

柳田 直毅

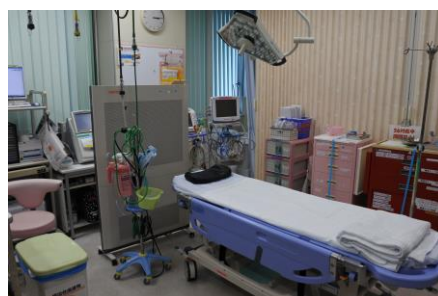
大和市立病院では、地域の基幹病院として良質な医療サービスを提供するため、「市民のいのちを守る救急」の実践を目指しております。そのため、当院では2～3年前より、救急業務の体制について数々の取り組みを行ってきました。

救急隊からの受け入れ要請について、それまでは看護師が救急患者情報の聞き取りを行っていました。令和3年7月からは救急要請を速やかに医師に電話転送し、医師が直接救急隊員から患者情報の聴取を行うこととしました。その結果、迅速な救急車の応需判断を行うことが可能となりました。また、救急診療においては、救急医療チームによるコミュニケーションはかせません。さらに、当直勤務の開始時に各科当直医と看護師でミーティングを行い、救急外来の状況や入院病床の情報共有をするようにしました。あわせて、救急車を応需できなかったケースについて振り返りを行い、場合によっては病院長を交えたヒアリングを行い、救急車応需への改善策を検討するようにしております。そして、救急業務の構築においては、大和市救急隊との連携が非常に重要となります。令和4年5月からは、大和市救急隊員と定期的に救急搬送症例についての検討会を行うこととしました。当院の医師・看護師と救急隊員とで症例検討を行うことで、救急搬送症例へのより良い対応が可能となりました。令和5年1月からは、毎週日曜日の9時から17時にかけて、救急隊1分隊が当院救急外来に常駐するようになりました（救急ワークステーションといいます）。救急隊員が当院救急外来で病院実習を行いながら、救急患者への対応も行っており、救急外来の人員確保にもつながっております。

上記のような取り組みを行った後、当院での救急車応需率と救急応需数は、着実な上昇傾向を認めています（グラフ参照）。当院では、引き続き救急業務に力を入れていく方針であります。今後とも大和市立病院をよろしくお願いいたします。



救急外来①



救急外来②



看護部長 着任のご挨拶



今年4月に大和市立病院に看護部長として着任しました脇坂けい子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は国立病院機構に長年勤務して参りました。2020年2月、ダイヤモンド・プリンセス号の乗客が新型コロナウイルスに感染し、全国に感染が拡大した第1波の時期から看護部長として東京医療センターに勤務しておりました。国立病院機構の基幹病院として、クルーズ船への継続的なDMAT派遣や、神奈川県を含む関東5県の関連病院で乗客を受け入れ、空港等の検疫に職員を派遣するなど、神奈川県とのつながりが多くありましたので、この度、大和市立病院に勤務することになりましたことにご縁を感じております。当院は県央地区の中で一番多くのコロナ患者さんを受け入れてきました。今年5月より5類感染症となりインフルエンザと同等の扱いとなりましたが、現在も感染者数は増減を繰り返しています。引き続き感染対策を継続し、安心して入院していただける環境を整えていきたいと思っております。

さて、当院は令和6年11月に病院機能評価を受審する予定です。外部評価を受けるために、改めて当院の使命が果たされているか、提供する医療の質が病院としての「あるべき姿に近いのか」という視点で確認しつつ準備を進めております。地域の基幹病院として、市民の皆様から信頼される病院であり続けられるよう努力して参りますので、引き続き、ご支援の程お願い申し上げます。

保湿剤を使って 皮膚を守ろう！

皮膚・排泄ケア認定看護師

青木香子・芦澤紀実枝・木寺邦子

身体全体を覆う皮膚は体重の16%を占め「身体最大の臓器」といわれており、大きく分けて下記2つの役割があります。

- ① 外界からの細菌や病原微生物・紫外線などの侵入を防ぐ
- ② 体液成分の蒸発を防ぐ

しかし、年を重ねたり、栄養状態の低下や病気に罹患したりすると皮膚の役割も低下します。そこで、身近に出来るケアとして1日2回以上、保湿剤を塗布することで、低下した皮膚の役割を補うことができます。

○保湿剤塗布のポイント！

★入浴後、早めに塗布する

★継続して使用する

★夏場はさっぱりするローションタイプの保湿剤がお勧めです。



★【月例講演会】再開のお知らせ★

シリウスでの月例講演会を再開しました。

大和駅前にあるシリウス4階図書館 健康テラスにおいて、「大和市立病院月例講演会」を令和5年4月より再開しました。

コロナの感染状況等を考慮し、令和2年から月例講演会の開催を中止していましたが、コロナの感染状況が少し落ち着いてきたことで令和5年4月より「大和市立病院月例講演会」を当院の医師や看護師などが講師となって、毎月第3土曜日の午前10時～午前11時の時間帯で再開することになりました。

会場は、25名くらいが入れる場所ではありますが、当院の医師や看護師などに質問が直接できるなどのこともあり、講演会を楽しみにされている方が少なくありません。

月例講演会の開催日程等につきましては、大和市図書館 健康コーナー担当(046-263-0211)、大和市立病院患者サポートセンター(046-260-0111 代表)へお問い合わせください。



鮭とさつまいもの ミルク煮

- | | |
|---------|-----------|
| ・ 鮭 | 1 切れ |
| ・ たまねぎ | 2 0 g |
| ・ しめじ | 2 0 g |
| ・ 小松菜 | 2 0 g |
| ・ さつまいも | 4 0 g |
| ・ にんじん | 1 5 g |
| ・ コンソメ | 1 / 2 個 |
| ・ 水 | 1 0 0 m l |
| ・ 牛乳 | 1 0 0 m l |
| ・ バター | 2 g |
| ・ 小麦粉 | 大さじ 1 / 2 |

カルシウムの推奨量は成人1日あたり600～650mg（年齢設定あり）、1日あたりの実摂取量は505mg（2018年）ですので、カルシウムは100～150mg不足しています。秋が旬の食材を使って、カルシウムを十分にとり、丈夫な骨や歯をつくりましょう！

＜作り方＞

- ① 鮭、さつまいも、にんじんは一口サイズに切る。たまねぎはスライスし、しめじは小房に分け、小松菜は2～3cmに切る。
- ② 鍋にAを入れ、竹串が通るまで煮る。さつまいもに竹串が通ったら、鮭、たまねぎ、小松菜、しめじ、牛乳を加え、鮭に火が通るまで煮る。
- ③ 溶かしたバターの中に小麦粉を加え、ダマにならないよう混ぜ合わせ、②の鍋に入れ、よく混ぜる。

～管理栄養士より～

小松菜と牛乳にはカルシウムが豊富に入っています。ビタミンDを多く含む鮭と一緒にとることで、カルシウムの吸収率がアップします。